

自分のために、大切な人のために がん検診を受けましょう

●問合せ先 健康課健康推進係(総合保健福祉センター「あすてらす」内) ☎72-6682、80-2524

日本人のおよそ2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で命を落としています

がんは遺伝するといわれていますが、実は、遺伝によりがんになる人は5%程度です。むしろ多くの原因は喫煙や食生活、運動などの生活習慣にあります。これらに気をつけて発がんリスクを下げる必要がありますが、生活習慣の改善を心がけたとしても、がんにかかるリスクをゼロにすることはできません。

そこで重要となるのが「がん検診」です。医学の進歩などにより、初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、非常に高い確率で命を救うことができるようになりました。しかし、日本のがん検診受診率は先進国の中でも最低レベルです。

平成25年度小郡市がん検診の結果

検診の種類	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	がん発見者数(人)
肺がん・結核	17,693	3,793	21.4	1
大腸がん	17,693	3,741	21.1	3
胃がん	17,693	2,925	16.5	3
子宮頸がん	7,630	1,932	25.3	4
乳がん	8,014	2,075	25.9	3
前立腺がん	5,819	1,347	23.1	13



※小郡市がん検診でがんが見つかり、治療につながっています

がん検診受診率の目標は50%…まだまだ目標には達していません。
早期発見・早期治療のために定期的にごがん検診を受けましょう！

小郡市総合健診のご案内

今年度の日程も残り少なくなりました。早めに予約し、健診を受診しましょう。

健診項目：特定健康診査、若年者健康診査、胸部検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診

日 程		受付時間	会 場
10月	28日(火)・29日(水)	8:30 ～11:00	総合保健福祉センター 「あすてらす」
11月	14日(金)・30日(日)		
12月	5日(金)※レディースデー 7日(日)		

※子宮頸がん検診、乳がん検診は11月末まで市内の指定医療機関でも受診できます。詳しくは、「平成26年度小郡市健康診査のご案内」または市ホームページをご覧ください

各がん検診の内容

肺がん検診

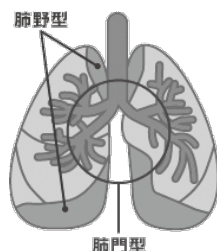
肺がんにかかる人は高齢になるにつれて増えています。発生した部位によって、肺野型と肺門型に分けられます。

検査方法

問診と胸部X線撮影を行います。
撮影は約1分程度で終わります。

リスクが高い人

- ・喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の人
- ・40歳以上で6か月以内に血痰があった人



子宮頸がん検診

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんで、20～30代に急増しています。多くの原因はHPV（ヒトパピローマウイルス）といわれています。HPVはごくありふれたウイルスで、感染ルートは主に性行為です。ほとんどの女性が一生に一度は感染するといわれています。多くは一過性の感染で済みますが、まれに細胞の異形成（前がん病変）に進み、その一部ががん化するケースがあります。検診では、前がん病変の段階で異常細胞を見つけます。子宮頸がんは検診を受けることによって95%以上予防できる「がん」です。

検査方法

問診と子宮頸部の細胞を診断する方法で検査します。子宮入口の細胞をブラシでこすり取って顕微鏡で見る「細胞診」です。

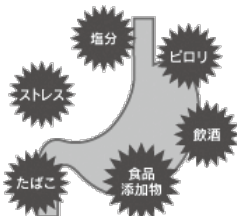


胃がん検診

毎年新たに胃がんになる人は約10万人。胃がんの危険因子として、ストレスや塩分の摂りすぎ、飲酒や喫煙、ピロリ菌の感染など、環境要因の関わりが大きいと考えられています。集団検診で発見される胃がんは「早期がん」が多く、手術すれば100%近く治ります。検診による早期発見が大切です。

検査方法

問診と胃部X線撮影（バリウム）を行います。
撮影は約4～5分程度で終了します。



大腸がん検診

増え続けているがんの中でも、大腸がんの増え方は急激で、2020年には胃がんや肺がんを抜いてトップになると予想されています。「早期がん」ならほぼ100%治るといわれており、検診による早期発見が大切です。

検査方法

問診と便潜血検査を行います。
便の微量な出血の有無を調べることで、消化管内部の出血を知る検査方法です。



乳がん検診

女性が患うがんの中で最も多いのは乳がんです。食生活の欧米化が一因で、20人に1人の日本人女性が一生に一度は乳がんを患うと計算されています。乳がんは検診を受けるだけでなく、自己検診を習慣化することが奨励されています。毎月、生理が終わった1週間ぐらい後に（閉経した人は日を決めて）、乳房にシコリがないかどうか自分で検査しましょう。

検査方法

問診と視触診、乳房X線（マンモグラフィ）撮影で検査します。視触診は、専門医が乳房全体を手で触れて乳房の形、皮膚、乳頭、乳輪の異常やしこりの有無を診ます。診察にかかる時間は約10分程度です。マンモグラフィは、乳房を圧迫しながら薄く均等に広げて撮影するため、個人差はありますが、痛みを伴う場合があります。撮影にかかる時間は3分～5分程度です。
※生理前には、ホルモンの関係で乳房が張って、マンモグラフィ撮影時に多少痛むことがあります

